

意見書案第2号

令和3年 3月19日

白老町議会

議長 松 田 謙 吾 様

提 出 者

白老町議会議員 大 淵 紀 夫

賛 成 者

白老町議会議員 小 西 秀 延

白老町議会議員 及 川 保

白老町議会議員 西 田 祐 子

白老町議会議員 長谷川 かおり

国民健康保険料の子どもの均等割減免の拡充に関する意見書（案）

標記の意見書を別紙のとおり、白老町議会会議規則第8条の規定により提出いたします。

## 国民健康保険料の子どもの均等割減免の拡充に関する意見書（案）

政府においては、子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、国、地方の取組として、2022年4月から未就学児にかかる国民健康保険料均等割額の5割を軽減することを決めました。

国民健康保険はほかの健康保険とは違って世帯員数に応じた均等割保険料がかかります。世帯員数は子育て中の家庭など、多人数世帯ほど負担が重くなっています。また、少子化対策の充実にも逆行しているとして、その軽減を求める声も高まっています。

よって、その対象を未就学児に限ることなく、小学生など、義務教育対象児に拡大が期待されています。

国会及び政府においては、少子化対策の拡充のためにも、国民健康保険における子どもの均等割額のさらなる拡充策を検討されるよう強く要望します。

以上、地方自治法99条の規定により意見書を提出いたします。

令和3年 3月 日

北海道白老郡白老町議会議長 松 田 謙 吾

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣